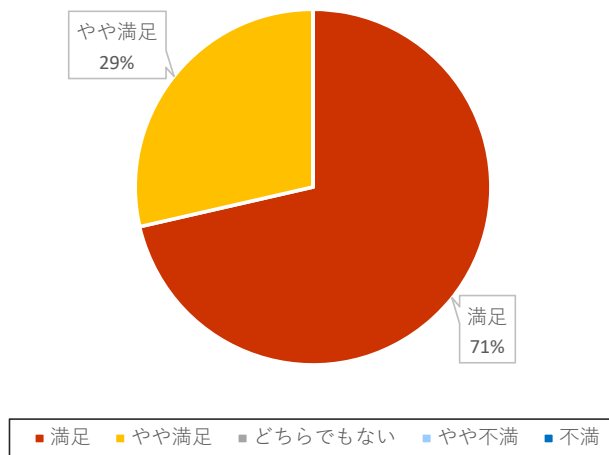


さとことブレスト参加者アンケート（第5回）

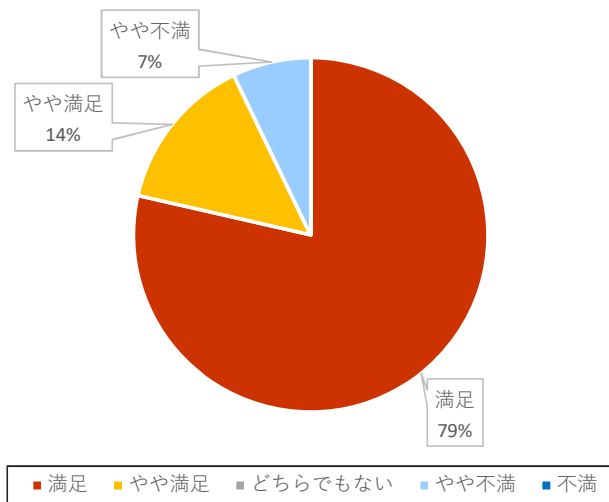
Q1. 今回の【さとことブレスト】で、どの程度満足いただけましたでしょうか。 n= 14



Q2.以下の点に関して、それぞれお答えください。

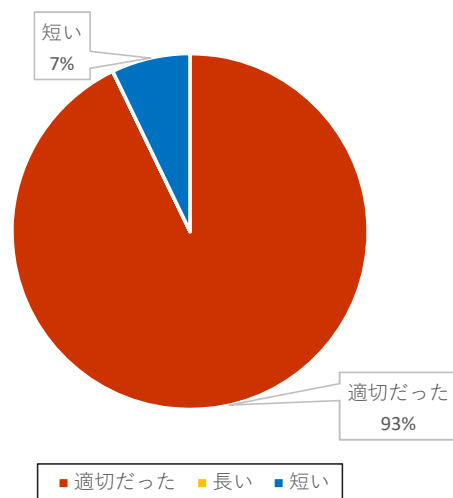
①テーマ

n= 14



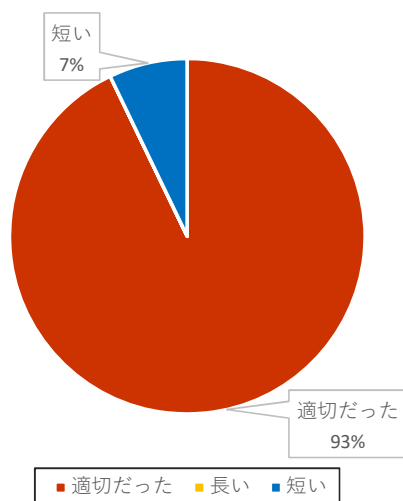
②全体の時間

n= 14



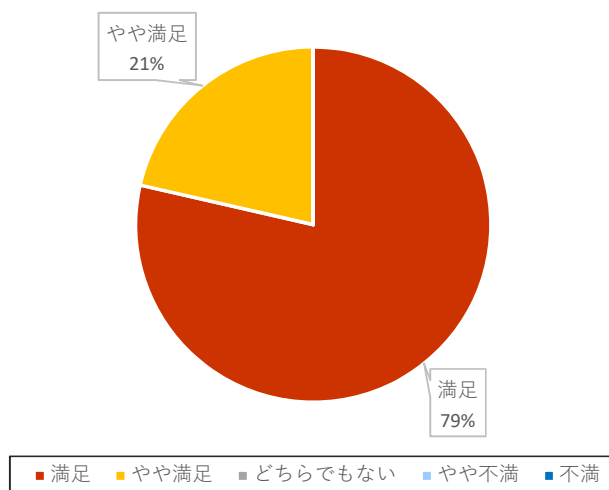
③プレストの時間

n= 14



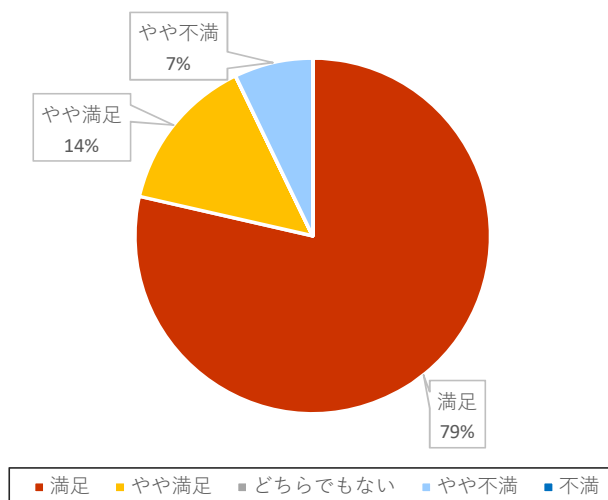
④進行のスムーズさ

n= 14



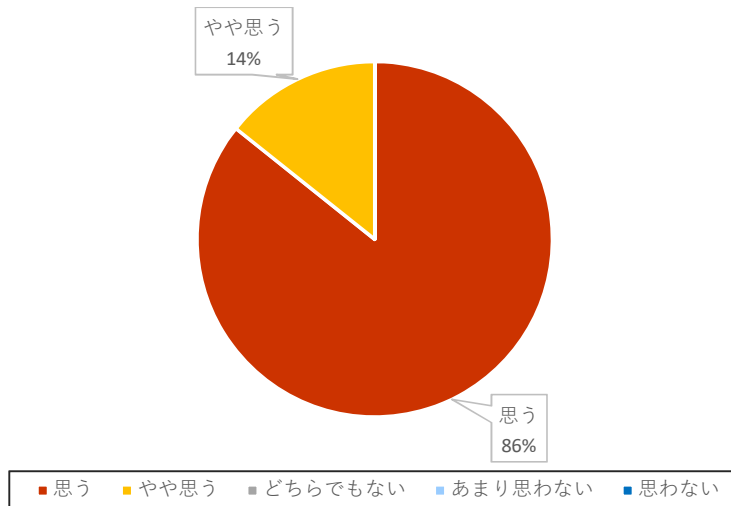
⑤ファシリテーターやスタッフの対応

n= 14



Q3. また参加したいと思いますか？

n= 14



○自由意見

さとことプレストを設定してくださり大変感謝致します。このような話や時間が街のあちこちで生まれるために、私も「街づくり」の話を日常会話にしていきます。

グループで皆さん一人一人の意見を聴くことができ、受け止めることが出来ました。個人商店が多くある良さ、公共空間が広がることによるメリットを活かす街づくりができるようにしていきたいですね。

プレストの開催は評価したいと思います。今後参加者の多くが言われたように西荻の雰囲気を壊さず、また、巨額の予算を単なる道路幅拡張に使うことにならないように区長と区の英断に期待します。

示されたテーマに沿って自由な発想で活発に意見交換ができたことはとてもよかった。ほとんどの人が個人商店や個性的な店のある西荻のよさを大切にしたい街づくりを望んでいることが改めて確認できたのはよかった。また、すでに道路用地として買収された土地の有効利用の様々なアイデアが出たのもよかった。

ただ、この場所に本当に道路拡張が必要なのかということや、莫大な税金を投入するなら道路拡張以外にもっと優先順位の高いことがあるのではないか、というような本質的なことについてはテーマになっていなかったことが非常に残念。テーマではなかったので、少しは意見を述べたが、単発的な意見になってしまい、深まらなかったし、道路拡張は決まっていると区の人に言われて、どうしてその基本、スタートから住民参加で考えることができないのかと大きな疑問を感じた。

住民参加の機会を作ってもらえたことは素晴らしいことで、これからもぜひ続けてほしい。岸本区長が住民に寄り添いながら、この問題に取り組んでいこうとしている姿勢が感じられて、区政が少しずつ変わるかも、と希望を感じた。

区の職員の方々のご苦勞もたいへんかと思いますが、公共空間の環境の改善に向けて、頑張ってもらえればと存じます。

初めてこういう会合に参加させて頂きましたが、とても良かったです！
土曜日にご対応くださった区役所の皆様、区長にも御礼申し上げます。

いろいろな方とお話が出来る機会があることは、ほんとうに良いことだと思いました。また参加したいです。

地域のことを考え住民同志で話し合う良い機会でした。
新しい区長と未来に向けた行政のしくみに、協力、関わっていただけると思います。

大変すばらしい機会となりました。
区長、区の職員の皆様、ファシリテートされた建築士会の方、オブザーバーもふくめて、熱い思いを共有できてよかったです。

特になし。
道路は資産、アセットマネジメントをしっかり行い優先順位を考えるべき。

難しいテーマですが、皆様との討論で思いが深まりよかったですと思いました。

さとことプレストになってから、参加者としては、とまどいを感じた。
とはいえ、よい機会の設定であったとは思いますが。

記入日2023年1月3日です。ゆっくり書こうと思ってやっと着手したらフォームがしめきりになっていました。いつしめきりと、書いてないのですが。まだ「同封の封筒」も配布されていませんでした。が、提出したいので郵送します。ほかにも運営上のことでは私が前日にTELで問合せたところ即答してもらえず、ちゃんと決まってないのかな？と疑問に思ったのですが①SNS等へ上げてよいか②写真も可か③事前企画（駅から132号線を歩く）は自転車OKか（ダメだろうと思ったが、通行性を検証する上ではやってみてもいいと思い、あえて聞いた）、このようなことがらは案内状に明記しておくべきだと思います。「聴くオフ・ミーティング」の方は広報に写真のことなどは書いてあったような気がします。

運営に関しては区と建築士会との関係が不明瞭で、たとえばこのアンケートも含め内容が共有されるのか、個人情報などは？なども説明不足であると感じています。区と建築士会のどちらが実施主体だったのかよくわかりません。

「駅から歩く」においては案内人の人がいきなり拡幅予定図を広げて「はい、こうなりますから」と言われ、道中も「あそこまで拡がるんですよ」と当然のごとく言っていた。これはその方個人の問題かもしれませんが、そういう辺りもスタッフと行政とのコンセンサスはどうなっているのかなと疑問でした。

私は「さとこと」プレストだけでなく、行政の部署の担当の人たちに区民の話し合いを直接聞いてほしかったので、終了後、建築士会の人に「区職員の人はいないんですか？（受付とか裏方です、と言われた）」と話していたら、他の建築士の方が割って入るように「職員と住民だと意見が対立して話しても並行線になってしまうんです。これまで説明しようとしても

話にならなくて」みたいなことをすごく強めに言われました。「いや説明してほしいんじゃない、区民が話してるのを聞いてほしいんだけど」と言ったのですが。何か従来の「行政が説明して住民に理解させて道路事業を実施する」みたいな調子に聞こえました。

あと「ブレイク」の時の「ほこみち」のパワポですが、これも先入観を与えがちだし、内容としても納得いかない事例でした（私の班では他の参加者にも「ニシオギはこうじゃない」と不評だった）。後でWebを見て調べたら、宮下パークみたいに道路を民間占有させるようなことになっているし、しかも実施例がどれも同じようなことばかり。「全部が同じ街になってはいけない」ためのブレストでは？

悪かったところばかり書いてしまいましたが、ブレストの内容自体は充実していて他の参加者の方の知見に感心したし私も自由に話すことができたと思う。他の班と交流するのは時間的にムリでも「ふせん」を見て回る時間があってもよかった。これが活かされるといいと心から願います。